

園・施設名	「こころの花」ほいくえん登戸駅前
経営主体	学校法人 菊地学園
所在地	神奈川県川崎市多摩区登戸3277-1
定員	80名
理事長名	菊地 政隆
園長名	長田 多重子
採用担当者	衛藤 翔
電話番号	園の電話：044-322-0087 採用担当：070-1534-4472（衛藤）
保育理念 保育方針 保育目標	<ul style="list-style-type: none"> ●理念 ここで過ごした子どもたち全員が幸せになってほしい。それが私たちの願いです。 ●方針 自由の中の規律を意識し自ら考え行動できる子どもを育てる ●目標 ～3つのこころの花を育みます～ ・やさしいこころ 友達を思いやる気持ちや困っている人に気づけるようなやさしいこころを育みます ・つよいこころ どんなことでも“やってみよう”と挑戦するつよい心を育みます。 ・げんきなこころ 自分の好きな事を見つけ、夢中で遊びこめるげんきな心を育みます。
保育環境	<p>J R南武線・小田急線「登戸駅」より徒歩2分の場所にある保育園で天候に左右されず、快適に通勤できます。</p> <p>令和2年4月に開園した2年目の保育園です。</p> <p>日々の保育の中で子どもたちが自らやりたくなるような気持ちを大切にします。保育者がすべてを提供するのではなく、子どもたちが保育の中でやりたいことを選べる環境が大事だと考え、その一つの方法として菊地学園では【自己選択】をキーワードにコーナー保育を導入しています。</p>
ホームページURL	https://cocoro-hana.jp/
事前質問	<p>《保育の質》についてのお考えをお聞かせください。</p> <p>保育の仕事はオーダーメイド。子どもたちにはたくさんの可能性に満ちているからこそおもしろさがあり、そこに保育という仕事の専門性があると思います。その奥深さに保育士が気づいているのか、いないのかでは大きな違いです。そして子どもたちには一人ひとり、毎日違うドラマがあり、保育のあり方も一人ひとり違ってきます。例えばただの石ころでも、子どもにとっては宝物かもしれません。子どもの姿をよくよく見てみると、いくつもの石を真剣に見比べてから、選んでいる姿を見つけることが出来るかもしれません。そんな時には「宝石みたいにきれいだね」と声を掛けることで、きっと素敵な笑顔に出会えると思います。その瞬間はその保育者とその子の間だけで成り立つ世界です。子どもとの世界、そしてその先の成長を想像しながら行動するところに保育の質が隠されていると思います。</p>
	<p>「保育の質」の向上」のために取り組んでおられることについて、具体的にご紹介ください。</p> <p>菊地学園ではちょっとおもしろい取り組みとして「集まれ！保育のエピソード大賞！」と称し、各園の保育の事例共有を行っています。思い通りに進んでいくこともあれば、予想していた子どもの姿と違うな…と頭を悩ますことも多いのがこの業界。その中で“こんなおもしろい姿に出会えた！”や“こんな感動的なことが起こった”“こんな視点に気付いた！”など、子どもたちの数だけエピソードがあると思います。自分の園だけでなく他園からの情報が自然と入ってくるので、子どもと関わる時の引き出しも自然と増えていくのが良いところ！保育の視点が広がることで、「こんなやり方もあったんだ…」 「次は自分の園でもやってみよう！」など職員が保育を楽しむ要素にもなっています。そして、定期的に「保育のエピソード大賞」が選ばれ、大賞に選ばれた職員には理事長先生から金一封（商品券）が送られます！SNSに投稿する感覚で楽しみながら保育の質の向上とを図っています。</p>
	<p>学生の就活において「職員同士の人間関係」が重視されていることについて、お考えをお聞かせください。</p> <p>保育はチームで行いますので、人間関係が良好である事はとても大切です。園全体で子どもたちの健やかな成長を支えていくという点でも情報の共有は欠かせませんし、クラスを運営するにあたってコミュニケーションを取らなければ保育という仕事は全く成り立たないので、就活で職員のコミュニケーションの良さを見る事は大切だと思います。そして、もう少し深く人間関係という部分考えた時、職員が同じ思いを持ち合う視点も人間関係の良さにつながっているかという事もとても重要です。その園の職員が法人の理念・方針・目標などの思いをどれだけ考えているのかという視点も人間関係の良さにつながっているかという視点でも“人間関係”を見てみるとまた違った発見があるかもしれません。</p>
	<p>乳幼児期における「子どもと保育者の望ましい関係」についてのお考えをお聞かせください。</p> <p>また、そのような関係を築く上で大切にしていること、実践していることを具体的に教えてください。</p>
	<p>どんな時でも私たち保育者がその子のありのままの気持ちを受け止めるということを大切にします。その積み重ねが子どもとの信頼関係を築き、子どもたちが自由に表現することの楽しさを知り、安心できる環境は“色々なことにやってみよう”とする姿に繋がります。例えば、靴を履きたくない！と泣いている子どもがいたとしたら、まずは“履きたくなかったんだね、いやだったね”と、その時の感情を受けとめます。そうすることで、たとえ泣きながら履いた靴だったとしても、その子のこころの中には受け止めてくれたという想いは残ると考えています。当法人ではその些細なことこそ大切に重きを置いた保育を大切にします。この小さな積み重ねが子どもの心を大きく育むことに繋がると考えています。</p>
	<p>生活習慣の自立に向けた援助や関わりで大切にしていることについて、簡単な事例を基にご紹介ください。</p>
	<p>乳児期でのいい関わりが子どもたちの生活習慣の自立へと繋がっていると考えます。菊地学園の乳児クラスでは子どもたちの手の届く場所に衣類等が収納されているロッカーがあります。乳児期の子どもたちは好奇心が旺盛ですから、もちろん手の届く場所にあるものは引っ張り出してあっという間に散らかってしまう事もあり、大人にとっては一見“困ること”のように思えますが、“手の届くところにある”という環境こそ生活習慣の自立に向けて私たちが大切にしているポイントです。“自分でやってみよう”という姿への道のりのスタートはそこからです。はじめは好き勝手に衣類を引っ張り出してしまっていますが、その気持ちを受け止めながら一緒に片づけたり、「ここに洋服あるね」と声を掛けたりしていく関わりの中で自然と子どもたちも理解をし始めます。そして、そこに寄り添える保育士の気持ちも大切です。洋服が散らかって大変！なんて思う事もあると思いますが、その時期をいい関わりからこそ自立した生活習慣が身につきます。</p>
	<p>学生へのメッセージ</p> <p>私たちが一番大切にしていること。それは“菊地学園で働きたい”という気持ちです。</p> <p>菊地学園は“保育”にこだわりを持っています。“自由の中の規律を意識し自ら考え行動できる子どもを育てる”と方針にあるように菊地学園で働く人も同じです。“自ら考えて行動できる人”を私たちは求めています。</p> <p>『保育を楽しみたい』そんな気持ちをもって行動することで成長につながっていきます。</p> <p>やりたいことがあるあなた！ぜひ、菊地学園で実現してみませんか？</p>